

# 看護大通信

53



新潟県立看護大学  
地域看護学

助教 藤川あや

全国的に毎年十一月ごろから四月にかけてノロウイルスの感染を原因とするおう吐・下痢症が流行しており、新潟県内でも十一月末から病院や飲食店でノロウイルスによる

集団感染がおこっています。

## ノロウイルスに注意しましょう

ノロウイルスは、特に保育所、幼稚園、小・中学校や高齢者施設などの社会福祉施設、医療機関での発生が多く注意が必要です。

ノロウイルスはヒトからヒトへ感染します。ノロウイルスに感染すると、はき

（熱はあまり高くならないことが多い）がみられます。感染してから発病までの潜伏期間（せんぶくきかん）は平均一から二日、症状の持続期間も一から二日と短いのです。おう吐と下痢で体の水分が大量に失われますので、脱水にならないように

できる限り水分を補給してください。特効薬はなく吐き気止めや整腸剤などの薬を使用する対症療法が一般的です。効果的な予防法は、流水・石けんによる手洗いです。帰宅時、調理前、食事前には流水・石けんによる手洗いを行ってください。

また、貝類の内臓を含んだ生食は特にノロウイルス感染の原因となります。

す。内臓を含んだままの貝類を加熱調理する際には中心部まで十分に加熱して調理し、貝類を調理したまな板や包丁はすぐに熱湯消毒してください。おう吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理の際は、

吸い込  
むと感  
染して

しまうおそれのある飛沫（ひまつ）が発生しますので、処理をする人以外の方を遠ざけてください。処理をする人は使い捨てのマスク・手袋をしつかり着用し、ペーパータオル・使い捨てタ

オルなどでおう吐物・下痢便をしつかりふき取ってビニール袋に入れて密封し捨ててください。その後薄めた塩素系消毒剤（家庭用漂白剤の場合）は約二百倍程度に薄めて、吐物・下痢便があった場所を中心に広めに消毒してください。吐物や下痢便で汚れた衣類は、洗濯機で洗うと洗濯機がノロウイルスで汚染されますので、マスクと手袋をしてバケツやたらいで水洗いをし、さらに塩素系消毒剤で消毒することをお勧めします（色落ちする可能性があります）。



特にノロウイルスに感染しやすい子どもや高齢者がいるご家庭では、感染予防に心がけていきたいものです。